

# Weekly Report



## 名古屋アイリスロータリークラブ

例会日 水曜日 13:00～14:00

会長 藤谷 猛

例会場 ANA クラウンプラザ  
グランコートホテル名古屋

幹事 深見 礼子

承認 2013年6月18日

公共イメージ  
向上 岩崎 幸弘



ロータリー：  
変化をもたらす

2017～2018年度名古屋アイリスRCのテーマ

共に活動し、共に奉仕し、  
共に頑張るアイリス

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

### 第209回 例会

2017年11月29日 13:00

- 司 会：生田瀬津子 例会運営・司会委員長
- 斉 唱：それでこそロータリー
- 出席報告：出席者数 29名 / 会員数 42名  
出席率 69.04%  
前々回(207回)修正出席率 88.09%
- ビジター：山口 RC 山下たけし様  
特別代表 浦野三男様

### ニコボックス

- 会長を仰せつかって5ヶ月が過ぎました。感謝することばかりです。皆さん、本当にありがとうございます。(藤谷猛会長)
- 又、北の將軍様がICBMを打ち上げましたね。世界中がオオゴトにならなければ良いですね(安井戦略委員長)
- 今週土曜日 12/2 に子どもたちに愛と笑顔を届けるスマイルピースコンサートを開催します。ぜひご都合のつく方 応援して下さいね(生田瀬津子さん)  
以上 3名 ニコボックス合計 5,000円

### 会長挨拶

みなさん、こんにちは。

寒暖の差が激しいですね。どうか皆さん体調を崩さないようご自愛ください。本来であれば、そろそろ予防接種をしなくてはならないのですが、今年はワクチンの供給が遅れていることが話題になっています。事実、どこの病院に行ってもワクチンが足りず大変なことになるっております。

ワクチンは例年、厚生労働省などが種類を決めています。今年も使用される「株」が製造過程で変更となり、各メーカーの製造開始が遅れた事が原因のようです。皆さんも、お早めに予約を入れられることをお勧めいたします。

さて、今年の7月に会長を仰せつかってから早いもので、本日で5か月目を終える事となりました。このアイリスロータリークラブも皆さんと5年目を歩んでいるのですが、誰もが最初の3年間ぐらいは緊張しながら間違いのないように活動されていたと思います。実

のところ私もそうでした。

ところが、昨年あたりから若干の違和感と異変を感じております。おそらく多くの皆さんが、力のあるところと抜きどころを分かってきたからではないでしょうか。年々、出席率は下がり、ニコボックスにお金を入れられる方も減ってまいりました。欠席された方は責任をもってメイキャップをされるよう強くお願い申し上げます。



これだけの会員数がいいるにも関わらずニコボックスの人数が2名という回もありました。さすがに危機感を感じずには居られません。この会長挨拶もうるさい話ばかりで、またかと思わ

れている方も多いと思いますが、このアイリスロータリークラブの為にもお話をお聞き下さるようお願い致します。ほぼ全員がチャーターメンバーの私たちです。少しずつ、皆さんと一緒に知らないことを学んで行けたらと思います。そこで今日は、ニコボックスのお話をさせていただきます。

私たちは「ニコボックス」、クラブによっては「ニコニコボックス」と呼びますが、本来はスマイルボックスといい、例会場で会員が自由意思で善意の寄付金を入れる箱であります。諸説ありますが、1936年大阪RCで初めて実施され、会員、家族、事業所等の慶び事、お祝い事をニコニコしながら披露し、喜びを分かち合い、又失敗したり、迷惑をかけたときもユーモアたっぷりに苦笑し、例会を賑わせて親睦を増進し、集まった善意はクラブ奉仕や外部に対する奉仕活動に使わせて頂くものであります。

それでは、このスマイルボックスは、どのようにしてできたのでしょうか。スマイルボックスは、シカゴRCか

ら始まりました。シカゴRCには公共問題委員会というものが、社会の公共問題を解決する事業を企画立案する委員会でした。公共問題委員会は、社会奉仕事業を決定すると、予算を立てて通常会費の他に会員から強制的に資金を取り立てていました。しかし、自分には関心のないことで徴収されるのはあまり面白くなく、あんな事業をするのならば、自分の方には、もう少しましな事業があるのにと考える会員が出てきました。

そうした頃 1919 年シカゴで一青年による残虐な殺人事件が発生し、社会的に大変な衝撃を与えました。早速、公共問題委員会は健全な青少年教育のため 100 万ドルの募金を行うことを提案しました。ところが会員の多くはこれに反対しました。提案がロータリーの原理に適合するものなら金を出し惜しみするものではないが、公共問題委員会が勝手にいろんなプログラムを決めて金を取るのは賛成できない、というのです。この論争は 3 年間続きましたが、結局ロータリーは善意で募金するのであって義務として賦課するものではない、という結論に達しました。

そこで善意の募金の手段として例会場の四隅に箱を置き、善意の募金を募ることにしました。しかし、入れてもよし、入れなくてもよし。入れた者は入れたからといって誇ってはならない。入れない者は恥ずかしいと思っはいけない。こういうルールができたのであります。これがスマイルボックスの起りで、1924年のことであります。これが「ニコニコ箱」のルーツと言われています。

因みに日本で最初にスマイルボックスを設置したのは、大阪ロータリークラブで、昭和11年7月のことあります。その内容は、誕生日とか、子供の結婚、孫の入学等の何かのお祝いのあった場合に応分のお金を自発的にいれるという主旨のものでした。以上がスマイルボックスの始まりです。どうか皆さん、ニコボックスもその趣旨をご理解頂きお力をお貸し頂けるようお願い致します。

本年度の方針は「共に活動し、共に奉仕し、共に頑張るアイリス」です。ローターアクトの主幹を務める青少年奉仕委員会の方々もご自分の時間を割いて頑張って頂いております。また他の委員会の方々にも本当に頑張って頂いております。全会員が、今ここでもう一度、しっかりとご自分の役目を考えて頂ければと思います。

みんなで頑張りましょう、会長挨拶を終わります。

#### ■ 幹事報告

なし

#### ■ 委員会報告

加藤正広国際奉仕・青少年奉仕委員長よりローターアクトへの協力について



#### ■ 卓話

沖 知也職業奉仕・社会奉仕委員長より、わがアイリス RC の社会奉仕活動の経緯と今年度の奉仕活動についてお話をいただきました。

